Cyber Solutions Inc.

NetSkateKoban Nano®

導入事例：つるぎ町立半田病院 様

「不正な端末の接続を検知・遮断するため NetSkateKoban Nano® で端末の接続状態をモニタリングしています」

つるぎ町立半田病院

- 不正接続端末の検知・遮断
- ホワイトリストによるシンプルな運用
- 優れたコストパフォーマンス
- UTMやアンチウイルスとの連携

Report.

徳島県・つるぎ町立半田病院では、院内ネットワークに接続される不正な端末を検知し、遮断するため NetSkateKoban Nano® を導入。導入の経緯と効果について、つるぎ町立半田病院 システム管理課 課長 山本 高也氏に詳しく伺いました。

不正な端末の接続を検知・遮断

— NetSkateKoban Nano® の利用状況について教えてください。

つるぎ町立半田病院
システム管理課
課長 山本 高也氏

当院では、電子カルテ用のネットワーク、行政システム用のネットワーク、業務システム用のネットワークと計3種類のネットワークを運用しています。それぞれのネットワークは分離されていますが、業務システム用のネットワークは、病棟や会議室など院内の様々な場所にLANポートが設けられており、インターネットにも接続されています。

NetSkateKoban Nano® によって、業務システム用のネットワークにおいて、接続が許可されたホワイトリストに登録されていない未許可の端末が接続されていないかどうか、常時モニタリングしています。不正な端末は、必要に応じて接続を強制的に遮断することで、ネットワークやシステムをウイルスやマルウェアによる感染リスクから守っています。

— 未登録の不正な端末が持ち込まれて接続される事案は、実際に発生しているのでしょうか。

悪意を持った不正な端末が接続されたり、職員が個人の持ち込んだ端末が無断で接続されるという事案は確認されていませんが、システムのソフトウェアやファームウェアのバージョンアップなどで、外部の業者が未登録の端末を持ち込んでネットワークに接続したり、端末の故障により代替機が用意されて、検知されるというケースはあります。

— 患者様が端末を持ち込んで接続するというケースもあるのでしょうか。

患者様による持ち込み端末の接続などは、当院では今のところありませんが、可能性としては無いというわけではありません。

不正端末の接続を効果的に防ぐ仕組みを目指す

— NetSkateKoban Nano® を導入した経緯について教えてください。

当院では、NetSkateKoban Nano® を導入する以前から、ファイアウォールを導入して、悪意のあるトラフィックや不正アクセスからネットワークを保護してきました。一方、物理的に院内のネットワークポートに直接不正な端末を接続された場合には、不正アクセスを効果的に防ぐ仕組みがありませんでした。安全性の確認できていない不正な端末の接続されること自体が問題ですが、仮に悪意のない接続であっても、意図せずウイルスやマルウェアが持ち込まれる可能性があり、セキュリティリスクとなっていました。

病院や病棟は不特定多数の人が出入りする場所であり、徳島県警察からも同様の指摘を受けていたことで、不正アクセスを検知・遮断する仕組みを導入する必要があると考え、NetSkateKoban Nano® の導入を検討するに至りました。

*製品の仕様などは予告無く変更する場合があります。

シンプルな導入・運用機能を評価

— *NetSkateKoban Nano®* の導入を決めた理由を教えてください。

当院で調べた範囲では、 ***NetSkateKoban Nano®*** と機能面やコスト面などで比較できる製品やサービスは見当たりませんでした。最終的に導入を決めた具体的なポイントは、次の通りです。

■ ホワイトリストによる検知・遮断
複雑な設定や専門的な知識が不要で、接続を許可する端末のホワイトリストによって接続の検知や遮断が管理されるので、機能がわかりやすい。ホワイトリストの登録や運用もシンプルで、運用負荷がかからない。

■ 導入が簡単
NetSkateKoban Nano®のアプライアンスをネットワークに接続するだけで、サーバーの設置や端末へのエージェントの導入・設定は不要。既存のネットワークやシステムに対する設定の追加・変更も不要で、導入後、すぐに使い始めることができる。

■ 高いコストパフォーマンス
セキュリティ製品としては、比較的安価に導入が可能。製品自体のコストパフォーマンスが高く、管理する端末ごとのライセンス費用も不要なので、接続を管理する台数の増減を気にせず利用が可能。

端末の接続状況を一元的に管理

— *NetSkateKoban Nano®* の導入効果について教えてください。

ネットワークにおける端末の接続状況を一元的に把握・管理し、不正な端末の接続を検知・遮断できるようになったのは、 ***NetSkateKoban Nano®*** に求めていた機能であり、 ***NetSkateKoban Nano®*** をネットワークに追加するだけで、セキュリティリスクを軽減できたことは、最大の導入効果だと捉えています。ホワイトリストの管理以外に、運用にほとんど手間がかからないので、セキュリティ製品としては、とても優れていると思います。

— 導入時に準備しなければならなかったことや苦労したことなどはありましたか。

ホワイトリストの登録も難しいことはなく、ネットワークやシステムの変更なども不要だったので、導入・運用関して時に苦労したことはありませんでした。

セキュリティ製品との連携機能に期待

— 今後の展開予定などがあれば教えてください。

ファームウェアのバージョンアップにより、UTM（統合脅威管理）やアンチウイルス製品、さらにはサンドボックスなどと連携して、怪しい振る舞いをしている端末に対して、ホワイトリストに登録されている端末であっても、ネットワークへの接続を自動で強制的に遮断する機能も新たにサポートされる予定だと聞いています。セキュリティを強化するため、当院でも導入を検討したいと考えています。

— サイバー・ソリューションズに対する期待や要望があればお聞かせください。

保守パックに加入していれば、無償でファームウェアのバージョンアップが可能で、スイッチとの連携により不正端末の接続ポートを特定することが可能になる機能がサポートされるということなので、期待しています。

〈販売パートナー担当者より〉
優れた製品を安価に提供してしているベンダーとして、今後も継続的な製品の進化に期待しています。より積極的な情報発信や販売店などに対する技術サポートの充実にも期待しています。

株式会社金剛 西営業所
中川 寿人氏(中央)、システムサポートサービス課 山田 樹氏(左)

お忙しい中、貴重なお話をお聞かせいただきありがとうございました。

つるぎ町立半田病院／プロフィール

徳島県の西部、吉野川の中流域の中山間地域にある国保直診（国民健康保険の保険者が設置した医療機関）の自治体病院。1949年の開設以来75年、病院の理念である“安心と信頼　そして地域と共に歩む”をモットーに、徳島県西部医療圏における地域医療に貢献している。
所在地：徳島県美馬郡つるぎ町半田字中薮234-1、開設年月日：昭和24年4月24日、管理者：須藤 泰史、病床数 120床
https://www.handa-hospital.jp

※記載の担当部署は、取材時の組織名です。
取材:カスタマワイズ　取材日:2024年7月

株式会社 サイバー・ソリューションズ
Cyber Solutions Inc.　ビジネス・ディベロップメント・グループ
〒989-3204 宮城県仙台市青葉区南吉成6-6-3 LABO・CITY 仙台3F
TEL 022-303-4012　FAX 022-303-4015　E-mail netskate-sales@cysol.co.jp
https://www.cysol.co.jp/

＊NetSkateKoban（ネットスケット交番）は、サイバー・ソリューションズの登録商標です。